

平成22年度第1回印西クリーンセンター環境委員会 会議録（概要版）

1. 期 日 平成22年6月26日（土）午前10時～正午12時
2. 場 所 印西地区環境整備事業組合3階大会議室
3. 委員出欠状況
☆甲（10名中 9名出席） ☆乙（24名中 20名出席 うち1自治会不選任）
☆傍聴者 1名 ☆事務局 2名

会議次第

1. 開会
2. 事務局長あいさつ
3. 議長選出（乙側委員）
4. 報告事項

（1）印西クリーンセンター操業状況について

表一1（ごみの搬入量及び焼却量）

- ・平成22年2月のごみ搬入量は、2,717 t（うち事業系651 t）、ごみ焼却量は、2,443 t
- ・平成22年3月のごみ搬入量は、3,543 t（うち事業系876 t）、ごみ焼却量は、2,502 t
- ・平成21年度のごみ搬入量合計は、43,619 t（うち事業系10,797 t）ごみ焼却量は、40,066 t

※ごみ焼却量の合計数値の訂正：誤40,061 → 正40,066

表一2（排ガス測定）、3（騒音・振動測定）・前回の委員会にて報告済み。（省略）

表一4（悪臭物質測定）・平成22年3月11日の測定結果は、敷地境界及び煙突・臭突出口すべて協定値内

表一5（臭気濃度測定）・平成22年3月11日の測定結果は、敷地境界及び臭突出口では、目標値以内

- ・煙突出口1回目で2,500でしたが、2回目で500の目標値以内

表一6（処理水の水質測定）、7（大気測定車による測定）、8（排ガス中の重金属の測定）

- ・前回の委員会にて報告済み。（省略）

表一9（ごみ質分析）

- ・平成22年3月1日に行った結果は、紙類48.1%、厨芥類13.5%、布類1.3%、草木類7.7%プラスチック類23.5%、ゴム類0.2%、金属類1.2%、ガラス類0.2%、セト物・砂・石2.5%、その他1.8%、水分44.5%、見掛比重0.16kg/l、低位発熱量2,330kcal/kg

【質疑応答】

[乙委員] 事業系のごみが、8月から10%ぐらい減っているのでその理由の説明をお願いします。

また、表の5の煙突・臭突出口のところ、3月11日に2,500という臭気濃度に高い値が出て2回目は500と目標値になったが、原因はわからなかったのか。

[甲委員] 事業系ごみの減少は、平成21年4月から料金の値上げをしたことによる影響が大きいのではないかと思います。臭気濃度の件について、今回1回目の測定が2,500ということで、若干70ppmぐらい窒素酸化物の量が多かったです。ただし、協定値が120ということでそれ以内の数値になっております。

[乙委員] 2,500から500になぜ減ったと思いますか。

[甲委員] ごみ質などによる影響もあるのではないかと推測されます。

[乙委員] 表1の2月のところで、3号炉の焼却で21日が抜けているのですが。

[甲委員] 2月はごみの搬入量が少なかったために、ごみピットの貯留量が底をつきまして、2日間ほど火を落としまして、そしてまたごみをためて燃やし始めました。

[議長] あらかじめ3つほど工場側に質問してありますので、それについて回答をお願いします。

[甲委員] 管理者の出席についてということで、委員の皆様にご説明が必要となる節目、節目ではできるだけ時間を調整して、委員会への出席をお願いしたいと考えております。

2点目、日曜日の開催につきまして、代表者会議を開催し、運営方法を決めていきたいと考えております。

[甲委員] 3点目、環境測定の業者についてですが、今年度は8社を選定いたしまして、1社辞退で、7社で入札を行っております。それで前年度と同じ株式会社環境管理センター東関東支社が落札しております。契約金額は227万8,500円となっております。

[乙委員] 測定内容をお教えてください。

[甲委員] 測定内容ですが、排ガス分析、焼却灰分析、悪臭物質分析、騒音・振動測定、放流水分析、排ガス

中の重金属分析、不燃残渣溶出分析、ごみ質分析、補助ボイラー排ガス分析、ダイオキシン類の分析になっております。

[乙委員] エムラップの有効期限は大丈夫ですか。

[甲委員] エムラップの期限は、2011年7月24日まで持っているそうです。

[乙委員] 測定技術の進歩が業者によって違いはないものなのでしょうか。

[甲委員] エムラップ制度という、測定できる業者という登録をしている業者の中で選定をさせていただきます。土台は同じにして、できるだけ価格が安くできる業者を選定させてもらっている状態でございます。

5. その他

(1) 平成22年度環境委員会の開催日程について(予定)

[事務局] 内野南第一団地町内会の今後の取り扱いについて、また平成22年度環境委員会の開催日程について、環境委員会の中の代表者会議の中で代表者の方と話を詰めていきます。

【質疑応答】

[乙委員] 管理組合であっても町内会機能を持っているところは環境委員に出せるとか、そういう判定をしていただきたいなと私は思っています。

[議長] この件については印西市、白井市も調べて、お知らせいただけませんか。つづいて、桜台の自治会から前回ご希望がございまして、8つの自治会から4人の選出ということでございます。

[乙委員] 前回の環境委員会で、前任がそのような希望を申し上げたのですけれども、かえって欠席人数が多くなってご迷惑をかけるので、従来どおり2人で行うということに決定しました。

(2) その他

① [事務局] 白煙防止装置の運用停止試験の実施について(資料にて説明)

【質疑応答】

[乙委員] 白煙は水蒸気です。その熱をほかに有効利用できるということなので、私は大賛成です。

[甲委員] 白煙防止を停止している間、蒸気がある有効利用できるかどうか、データをとっておりますので、試験期間が終わりましたら皆さんに報告できると思っております。

② [乙委員] 印西地区次期中間処理施設整備等検討委員会の経過について(口頭にて説明)

【質疑応答】

[乙委員] 印西市議会の中に委員長を含めて21名の議員さんにより、クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会というのが設置されたそうです。何する場か教えてください。

[甲委員] 印西市議会議員44名のうちの半分近くがその委員になっているということで、この次期中間処理施設の調査検討する機関というようなことで設置をされているということでございます。

[乙委員] なぜ印西市だけ特別委員会ができていますのですか。

[甲委員] 現施設は、印西市にあるということ。整備費用が100億を超えること。検討地の他2カ所も印西市内にあるということもありますので、印西の議会としても地元ということで勉強していく必要があるのではないかとということで設立されたということは聞いております。

[乙委員] 建設予定地はどうやって決まるのか。

[甲委員] 管理者会議の中で決まるものというふうに思っております。当然議会の同意というものが出てきますので、管理者、それと構成団体から選出されております組合議会、こちらの了解が必要になってくると思っております。

③ [事務局] 大気測定車について(口頭にて説明)

【質疑応答】

[乙委員] 昨日オキシダントの注意報が出ましたよね。だれがどこではかった値なのですかね。

[甲委員] 成田地域、北総地域、東葛地域というような地域分けされている、その地域分けの中で、北総地域のオキシダント濃度が高くなってきたので、警報を出しますよというようなことを県が、該当する地域に連絡をしているということです。

[乙委員] クリーンセンターへ操業を少し減らさないという命令は来なかったわけですね。

[甲委員] ダイオキシン類の関係、温度管理の関係で削減した場合に温度が低下してしまうということで、県と協議をさせていただいた中で、10%の操業の削減をさせていただいています。

6. 閉会

[事務局] 次回の第2回目の環境委員会は、9月3日金曜日午後8時からという予定なのですが、具体的な開催については、代表者会議、代表者の集まりの中で話をし、決定しまして皆様方に通知したいと思っております。